夕刊
新京日日新聞
定價 一箇月 金八十錢 三箇月 金二圓三十錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
發行人 柳 忠男
編輯人 松本 三郎
印刷人 十谷 二郎

日滿合辦の製鹽會社を設立
本年度七億斤製産を計畫

【新京】滿洲國實業部に於ては渤海沿岸の製鹽增産、五ヶ年計劃を樹立將來日滿合辦鹽業會社を設立し、製鹽業の國家統制を圖ることゝなつたが、大同二年度より工業鹽五億斤の日本内地輸出を目標に鹽業共同組合を組織せしめ、販賣統制及び金融を圖り鹽田整理を行ふと共に鹽田擴張、休止鹽田の復活を奬勵、現在の生産高五億斤から本年度に於て一躍七億斤に引上を計劃する一方鹽業試驗所を新設して滿洲鹽の品質改良につとめることゝなつた

國都建設局
第一回土地賣却
抽籤擧行さる

國都建設局第一回商租土地定價抽籤賣却の抽籤は豫定の如く十九日午前十時より國都建設局二階大禮堂に於て擧行、局側より結城總務處長及び草地土地科長列席し、首都警察廳より係官立會の上一般公開を以て先づ商店街より抽籤を始めたるが申込者約四百名參加し、盛會を極めた

△申込口數 (割合)
商店街 一、七〇四 一七、四
住宅街 一、一五三 一九、三
計 二、八五六

△賣却土地筆數(口數)及面積
一、商店街 一二六筆(九四口) 一五、六九九、一五〇平方米 (五四、四四四坪二〇)
一、住宅地 六〇筆(六〇口) 四〇、〇七、八〇平方米 (五一、三三三坪一〇)
合計 一〇二、六六一、〇二平方米 (三一、一〇九坪四〇)

△賣却土地附近の
一、道路舗裝完成は九月末
一、上下水道設備は九月中旬
一、電燈・瓦斯設備は七月末又は八月初旬

・尚買受人に對する當局の注意事項は左の通りである
一、土地買受人は契約締結と同時に代金全額(日本人は商租)(日本人に在りては商租價)を納付すること
契約締結は當籤決定の日より五日以内
一、買受人は土地の引渡を受けたる日より九十日以内に土地の利用計畫書を提出して建設局の承認を受け其の指定する期間内に利用計畫を完成せしめねばなりません
其の期間内は契約締結の日より二ヶ年である
一、買受人は利用計畫を完成せしむるに非ざれば買受土地(商租土地)の讓渡又は賃貸を爲すことを得ず但し建設局長の許可を得たる時は此限りに非ず
一、買受土地の分筆分讓は許されません、但し特種なる場合建設局長の許可を得たるものは此限りに非ず
一、賣却土地に對しては土地執照(地券)を給與致します

國都建設局 土地拂下當籤者

△商業地域の部
土地番號
四二 門出政雄
四三 李容煥
四四 今井松造
四五 坂本要
四六 上牧恭一
四七 大熊宗平
四八 篠谷保
四九 多田安治郎
五〇 今井松藏
五一 湯淺長四郎
五二 風柳武治郎
五三 北原廣
五四 門出久子
五五 長野昌夫
五六 四ツ倉宗次郎
五七 象頭岸藏
五八 池明植
五九 池明植
六〇 劉玉堂
六一 田崎治久
六二 安田新太郎
六三 多田安二郎
六四 劉印生
六五 井村龜治郎
六六 劉印生
六七 大熊宗平
六八 龜本進
六九 [illegible]川猪傳
七〇 岸田岩男
七一 象頭岸藏
七二 高田泰三
七三 長島岩市
七四 小倉市志
七五 草川定吉
七六 長島岩市
七七 草川定吉
七八 澁川眞雄
七九 岩格光之助
八〇 遠藤梅三郎
八一 日高晴雄
八二 鹿内勝太郎
八三 高野高助
八四 林原保次郎
八五 鈴木力造
八六 川橋喜三郎
八七 小倉市志
八八 鶴木康雄
八九 大上龜太郎
九〇 岸本泉一
九一 平尾美明
九二 大熊宗平
九三 薛仁亭
九四 嚴淳基
九五 田中勘助

△住宅地域の部
土地番號
一 權藤藤樹
二 田中芳人
三 田中節
四 韓榮五
五 前川數馬
六 田中秀人
七 菊名仙吉
八 小岩勇
九 草川宗吉
一〇 森定三
一一 黒二郎
一二 朴魯基
一三 宇田シカ
一四 宇田千代子
一五 田中孝一
一六 高鵬圖
一七 湯淺長四郎
一八 高谷寅吉
一九 大塚壽賀次
二〇 駒田德三郎
二一 岸田岸男
二二 櫻井重義
二三 小坂正則
二四 石澤常信
二五 鈴木修次
二六 石澤常信
二七 岸田五郎
二八 村上上
二九 中島ウメ
三〇 錢凡
三一 岡崎幸七
三二 小山正男
三三 今野儀之助
三四 西澤辰吉
三五 永江梓
三六 張亞修
三七 宇田千代子
三八 川橋圭三郎
三九 小岩勇
四〇 孫璞眞
四一 孟西村
四二 藤川猪傳
四三 劉輪珊
四四 岸田五郎
四五 岸田五郎
四六 織出市次
四七 小玉呑象
四八 小玉呑象
四九 永吉武彦
五〇 劉輪珊
五一 鍾夕江次作
五二 長尾芳男
五三 金子巳三郎
五四 壬臣
五五 小林壽
五六 木村十平
五七 久保田命四郎
五八 李振明
五九 山田外次郎
六〇 川畑豐治

丁公使
北鐵交涉員決定を通告

【東京十九日發國通】駐日丁士源滿洲國公使は午後四時半外務省に重光次官を訪問して北滿鐵路交涉の滿洲國代表に丁士源、大橋外交次長以下五名が正式決定せりと通告した、外務省では太田大使を通じ露國政府に通告の筈である

米のインフレ政策と當面の景氣打診(上)

一國の經濟政策がある一定不變の目的觀念の下に秩序整然と組織化され、個々の政策の微細な點に至るまで矛盾なく統一されてゐるといふやうなことは殆ど實際には有り得ないことである、況んや民衆政治を標傍し、農民と金融資本家との板挾みに苦しみ拔いてゐるアメリカ政府の場合に於ては猶更らさうである、然しルーズヴエルト政府が既に決定した諸政策を基礎として歸納的に其指導原理を見ることは必ずしも困難ではない

去る四月十九日の金本位停止によつて、新政府の意圖する所が弗の減價をも意とし得ない積極的なインフレーション政策にあることは否定し得ない事實となつた、從つて新政府が如何なる方法によつて如何なる限度のインフレーションを行はんとするかといふ見透しも、現在既に大体の輪廓を與へられてゐるやうに思はれる

□

去る五月十二日大統領の署名を終つた農業救濟法案、負債整理法案、失業救濟法案及び公共事業法案等は、近き將來に於けるアメリカインフレーションの内容を暗示し得べきものである

救農法案は通貨の獨裁權を大統領に附與し、五割までの平價切下げを許容してゐる、又同案は通貨の增發權を附與し、聯邦準備銀行のオープンマーケット、オペレーションに三十億ドル迄の準備銀行券の增發と、又三十億ドルを限度とする政府紙幣の發行を許容してゐる

聯邦準備券の三十億ドル增發は略倍額の增發を意味し、これに政府紙幣を合して六十億ドルの通貨增發は、四月末の總通貨流通高が五十九億九千萬ドルなる點より見ればこれまた倍額への增發である、從つて目指されてゐるインフレーションは救農案自体が言及してゐるやうに、物價の倍額近い騰貴若しくは通貨の倍額增發、或は弗價の半額減價を以て一應の限度としてゐると看做し得るのであ

珠玉を碎く (三十二)

吉井勇
(高根秀浩畫)
禁無斷上映上演

再會 (三)

露子はホテルの門を入ると、それから斜めに爪先上りになつた坂路を登つて、明かるいホテルの玄關にかゝつたが、彼の女の姿がその石段の上に現はれた時には、目早く見付けた白い服のボオイが、もうそこに出迎へてゐた。

露子は頭をてか／＼と油光りにさせたボオイの顏を見ると、何だかちよつとものが言へないやうな氣がしたが、しかし向ふからじろ／＼こつちの顏を見ながら、

『あのう……どなた樣で……』

と言つて訊かれると、默つてゐる譯には行かなかつた。

『え〻、あの松本さんて方が來ていらつしやる筈なんですが……』

と、ボオイは直に點頭いて、

『あ〻、いらつしやいます。どうぞこちらへ……』

ボオイはこんな客には馴れてゐると見えて露子の名も訊かずに、すぐに階段を昇つて、廊下傳ひに奧の方の部屋へ導いて行つた。

部屋の數はさう多くはなさゝうだつたけれども、綺麗に掃除の行き屆いた、淸楚な感じのするホテルだつた。階段を昇つたところの廊下に、大きな棕梠竹の鉢植が置いてあつて、窓から吹き込んで來る風のために、微な葉擦の音を立てた。

『こちらでございます』

奧の方の一つの部屋の前まで來ると、ボオイはさういつてから、すぐに向ふにいつてしまつた。露子はドアの前に一人取り殘されると、急に何となく胸がわく／＼するやうに思はれて、ノックするのも逡巡はれた。で、暫らくぼんやりそこに突つ立つてゐたが、やがて心を決めたやうにドアの傍に近付いて、輕く指の先で二三度ドアの上を敲いた。

『お入んなさい』

さういふ聲が聽こえると同時にドアが中の方へぐつと引かれた。そして露子の姿は吸ひ込まれるやうに部屋の中へ消えた。

部屋は八疊位の大きさで、瀟洒な裝飾がほどこされてあつた。そこに置いてある机やテーブルや椅子もかなり氣がきいた形をしたもので一隅には長椅子が二人の腰掛けるのを待ち受けてゐるやうに置かれてあつた。

英一と露子とは暫らく目を見合せたまゝ默つてゐたが、しかし直に男は微笑みかけた。

『割に早かつたぢやありませんか僕はしまひの「エジプト夜話」につかまつてゐるといふから、もつとずつと遲いかと思ひましたよ』

露子は同じやうにはれやかな微笑みを浮かべて、

『い〻え、つかまつてゐるといつても、ほんの序幕に一寸出るだけなんですの、しかしあたし今日はずゐぶん急いだんですのよ』

『さうですか。兎に角まあお腰掛けなさい』

『え〻……』

露子はちよつと媚びるやうな流し目を英一の顏に投げかけてから、

『あなたもお腰掛けにならないこと……』

といひながら長椅子の隅の方に腰を下ろした。しかし英一は腰をかけないで、洋袴の衣兜に兩手を入れたまゝ、部屋の中をあつちこつちと緩やかな足取りで步き始めた……。が、彼はさうして步きながらも女に話しかけることを忘れなかつた。

『まだ僕は拜見しないんだけれど、あなたの玉藻の前は大變いゝつて評判ぢやありませんか』

『い〻え、駄目ですわ。新聞の劇評なぞではさん／＼ですわ』

『あ〻、新聞の劇評なんて仕方がありませんよ。え〻と……誰だつけな、あなたの玉藻の前が素敵な出來だつていつて褒めてゐたのは……』

さういひながら英一は、思ひ出さうとするやうに、窓際に立ち止まつて、ぢつと下の方の闇の中に散らばつてゐる燈火を見詰めた。

爲替安定協定に 米國政府は不同意
未だその時期でないと聲明 協定成立望みなし

(ワシントン十八日發國通) 三國爲替比率問題に關し、米國政府は十八日重ねて左の如く聲明した

米國としては適當の時期さへ來れば世界各國通貨の恒久安定策に欣然同意する用意がある、但し現在の段階に於ては米政府は早急に爲替安定協定に同意する意志がない。尚ル大統領が爲替安定協定に參加する時期でないと爲す最大理由は若し斯の如き協定に參加して弗貨の固定化を來せば切角最近昂騰の傾向となつた米國の物價は恐らくその騰勢をば妨るだらうとなす點にあり米國の反對理由が玆にある以上爲替安定協定の成立は所詮當分見込みがないものと觀られるに至つた

日米爲替協定進行說 大藏當局疑ふ

(東京十九日發國通) 日米爲替二十六、七弗程度でアメリカが協定を進むとの外電に對し大藏當局は左の如き意向を有してゐる

一、英、米、佛の協定さへも疑はしいのに日米協定が進められるとは思はれない
一、日本では爲替比率協定問題を頭から否定せず、英、米、佛協定が出來れば交渉の用意あり
一、然し其前に關稅障壁撤廢問題の解決が必要である
一、理論上より見て英、米にてクレヂツト設定の場合は兎も角とし四億程度の金しかない我國で二十六、七弗維持は出來ぬ

エキスプレス紙 日米爲替安定交渉を報ず

(ロンドン十九日發國通) デイリー、エキスプレス紙は日米間の爲替安定交渉開始を報じ、左の如き記事を掲げて居る

米政府は日本政府に對し圓爲替百圓に對し、廿六弗乃至廿七弗の比率による安定を提議し、此比率による安定條件の一つとして、日本が米國と共同戰線を張り英帝國經濟ブロツク案の根源たるオツタワ協定に對抗すべき意向を含んでゐる

右ロンドン電に關し、我爲替業者は左の如き觀測を下してゐる

英米クロスが決まらぬのに日米爲替比率は決まりやうがない、現在廿五弗見當に在るのに廿六、乃至廿七弗となればそれだけ日本は差損を負擔せねばならぬ

日印會議に 商工省からも代表か隨員派遣

(東京十九日發國通) 外務省では十九日印度政廳より日印通商問題善後策として新條約締結の意志ある旨正式通牒に接したので愈々廿日の閣議に諮り、澤田公使をシムラに於る日印交渉の帝國代表に任命の件が決定される事になつた尚商工省からも勅任官一名を代表又は隨員として任命、若松商務官も隨員として赴く筈である

馬來政廳 織物關稅を引上ぐ

(東京十九日發國通) 在シンガポール田村總領事より十九日外務省へ到着せる報告によれば、馬來聯邦政廳は六月十五日以降綿布、麻、人絹交織物一般輸入品に對し、次の如き關稅引上を斷行したと、外國品從價二割又は毎ヤード五仙とし其他下記に從つてす、英國品從價一割又は毎ヤード二仙一分の一其他下記に從つてす

右今回の引上げは印度の引上げ策動によつて行はれたもので、他聯邦州も追隨するものと見られ、新稅率適用の結果從來高價の英國品は一割の稅率により本邦品に對しては全部一率に毎ヤード五仙を適用されるため極上品は三割、中等品は五割、下等品は七、八割となつて居り、將來日本品の馬來輸出は漸次下等品から高級品に轉換する事にならうと

小西京大總長の 辭表受理に意見一致

(東京十九日發國通) 京都大學の山本部長は午前十一時文部省で赤門專門局長と會見の結果、今日の情勢は小西總長では拾收不能故辭表を受理することに意見一致した

關稅壓迫に對し
緊急勅令で報復關稅制定か 外務省當局の方針

(東京十九日發國通) 外務省當局では、我關稅は不利な地位に在り

一、緊急勅令で報復的に關稅引上げを實施すること
一、緊急勅令で復稅制度に基く、二重關稅率を公布する

との腹案を以て至急大藏省の考慮を促すとの方針決定した

右引上げは關稅休戰決議に反するとの說もあるが政府では追認留保で散會したるに過ぎずとし、違反せぬとの意見を有してゐる

日印通商會議に 外務省と民間當業者 充分打合せ

(東京廿日發國通) シムラに於る日印交渉は印度政府が通商條約締結交渉に誠意を示した結果、更に正式回答を待つてこれが具體策を決定することになつたが、右具體案打合せは民間當業者から充分聽取し遺憾なきを期する爲相當準備に時日を要するものと見られ我代表の出發は早くて八月上旬となるべく會議開催は八月末か若くは九月に入つてからであらうと見られる

武器禁止案 米議會審議未了

(東京十九日發國通) 出淵大使發電=米國議會は武器禁止案を審議未了で次期議會に持越すに決定した

滿洲國 古跡保存法 案上程さる

十九日の國務院會議に待望の古跡保存法案が上程された、右法案の趣旨は滿洲國が古い歴史を有する國家で、民族の興亡、文化の變遷多く又史實及び古跡に富み、政府に於ては古跡と稱せらるもの即ち古墳、城塞、烽燧臺、驛站、廟宇、陶窯等の遺祉その他の史實に關係ある遺跡並に貝殻、石器、土器、骨角器類を埋藏する先史遺跡等を指定し、之等に對し適當なる保存方法を講じ、又その損壞散逸を防ぐため本法律制定となつたものである

關稅休日協定
參加國四十九ケ國となる 通商委員會第二日

(ロンドン十九日發國通) 經濟通商委員會第二日は十九日午前十一時三十分より開會、劈頭委員長コリン首相はヴエチゼラ國が關稅休日協定に參加した事を通告、これで右協定參加國は四十九ケ國となつたと述べ、更に委員會は今後一日半乃至二日間各國提案を討議し、それより各種の提案を小規模の起草分科委員會に附託したと提議委員會員はこれを可決引續き會議續行、一方金融通貨委員會は十一時二十分より開會した

內鮮連絡電話開通の第一聲は 齋藤首相

(京城十九日發國通) 東京、京城間連絡電話試驗は順調で七月一日より開通の見込みで開通の際は齋藤總理、宇垣總督の說話を交換する

東京市の 二助役決定

(東京廿日發國通) 東京市の第一助役は落合慶四郎氏、第二助役は澤本與一氏と昨日牛塚市長と政友議員間に妥協成り、本日市會で正式決定の筈である

國民黨の專制 ある以上 中國の暗殺事件は熄まぬ 華北晩報の苦言

(北平十九日發國通) 本日の華北晩報は(中國の暗殺)と題して論じて曰く

最近北に雀維周、南に楊杏佛と相前後して二大暗殺事件發生し世人を驚かせてゐるが此風潮は今後とも激化するの傾向あり、これが原因は一に國民黨專制に對する反對分子の策動が潛在化した爲であつて、中央政府の政策が民衆的とならない以上不平分子の暗殺環は止まないであらう、國民黨諸公の猛省に値する一現象である

『難』の一字以外 他省のことは何も知らぬ 韓復渠記者團に語る

(北平十九日發國通) 韓復渠は本日北平記者團と會見の席上語つて曰く

自分は山東省の事なれば知つてゐるが、他省のことは知らないから何も云ふ事は無い無理に云へと云へば難の一字以外にはないと多くを語らず依然として中原の惑星の態度を見せてゐる

大橋外交次長 日本記者協會から彈劾さる 十九日決議文を手交

既報、大橋外交次長の十九日正午外交部における日本記者協會員との會見席上の不遜な態度に關し記者團は極度に憤慨十九日午後國務院記者室に緊急總會を開き大橋氏の彈劾決議文及び理由書を作成しこれを大橋氏に手交すると共に關係要路に呈示した

決議文

吾等新京日本記者協會は滿洲國外交部次長大橋忠一君が責任者たるの資格なくその重職に堪へ得ざるべきを確認し玆に彈劾す

右決議す

新京日本記者協會

理由書

昭和八年六月十九日正午新京日本記者協會は滿洲國外交部次長大橋忠一君が外交部次長室に於て會見せん旨の招請に接す、時恰も滿洲國における當面の重大外交問題たる北鐵鐵路買收案件につき同君が同會議の滿洲國交涉委員として任命され、滿洲國の全責任を負ひて渡日せんとする當日にして同君が忙中閑を割愛し、吾等協會員に面接を求むる所以のものは、この重大懸案を前にして滿洲國の態度を開陳し、その公正中道を得たる國是方針を公器たる新聞紙を通じて中外に闡明せんとする意志に依存すべきを確信し所定の時處に於て大橋君と會見せり、しかるに大橋君の吾等記者協會員に對する態度たるや眞に侮蔑を極め暴措の暴戾なる、言辭の野卑なる、苟も職を外交部次長の要路に奉じ命をこん外に承けて善明と互助協力せんとするものの行爲にあらず正に四夭にして簡に上り狄猴にして冠すとの憾なきあたはざるのみならず吾等記者協會員を目するに徒に他國の秘事を盗偸し、憐憫を膝下に請ふ狗雞の徒輩と目こうその愚笑笑殺すべく、その狂突棄却すべしと雖も志を善隣友邦の國際向上と文化的進展に陳べんとする我等協會員の人格を無視し、筆硯の聖業を蔑視する、その識見たるや低調といふべく、その人格たるや劣鈍と稱すべく苟も國を盟國の重職に承けて非常時の國際外交涯に立たんとする當事者の任にあらざるべしこの故者を以て我等協會員は大橋忠一君をして日滿蘇の友交協和を破壞し伸長せんとする滿洲國の國際文化的發達を阻害するものなりと認めざるを得ず、これ同君を彈劾する所以なり

昭和八年六月十九日

新京日本記者協會

八田副總裁 羅津築港に關し關係者を歷訪

(東京十九日發國通) 北鮮羅津の築港に關してはこの程滿鐵建設局で設計成案を得たので、十八日入京した八田滿鐵副總裁は拓務、陸軍其他關係各省に說明諒解を求め、承認あり次第工事にかゝる事になつた、その內容は第一期工事として五ケ年繼續、總經費二千萬圓を以て年三百萬噸の積物を呑吐すべき港灣となす豫定で、將來貨物出廻り増加に伴つて第二、第三期工事を行ふ筈である

外務省直ちに 蘇聯政府に抗議す

(東京十九日發國通) 外務當局ではカムチヤツカでの露監視船の富美丸への不法射擊を重大視し、野口書記官を現場に派遣し現地調查をすると共にこれ迄入手の情報に基き太田大使よりモスクワ政府に嚴重抗議を提起せしめた

奉天省警備會議

(奉天十九日發國通) 奉天公署では高粱繁茂期を前に省下の治安維持を期するため昨日午前十時井上獨立守備隊司令官、三谷警務廳長、曹警備軍參謀其他各縣參事官四十一名新京より長尾警務司長、竹內總務司長出席、今後の警備に關して協議する處あつた

救護擔當者 教習日割

昭和八年度滿鐵救護擔當者教習は滿鐵本社地方部衞生課岩崎辻男氏指導の下に次の日割により行はれる筈

二十四日二十五日德顯、二十六日二十七日四平街、二十八日二十九日新京

鄭國務總理 主催の 板垣少將送別會

鄭國務總理主催の板垣少將送別會は十九日午後六時ヤマトホテルに於て盛大に擧行された日本側から武藤司令官以下關東軍、大使館、憲兵隊、滿鐵各首腦部、滿洲國側から鄭總理以下各部總長、院長等各要人多數列席

鄭總理より滿洲國建國の大功勞

丁交通部總長 哈爾賓より 歸京

北鐵交涉問題の現地視察並びに出先官憲と重要協議を遂げた丁交通部總長は秘書官帶同哈爾賓より十九日午後三時廿五分交通部關係者の出迎へを受け歸任したが、驛頭で左の如く語つた

未だ東京の方とは、別個に交涉してゐるから

其相手を見に行つたのだ然し世間で云ふ程複雜して居ない、北鐵の內部改革の問題も案外早く先方が承諾して來るかも知れんが、此方としては依然既定方針で進む

京大問題の一考察
東京帝大教授 法學博士 蠟山政道

京大問題が發生して以來、この問題の眞相を認識する上に何人も困難を感じたであらう、信憑すべき情報も無ければ、瀧川教授に關する充分な予備智識も持ち合せてゐないので、個人的な見解すら立て得なかつた、しかし京大法學部教授團が天下にその聲明書を發表するに至つて、事情は大いに變化した

なぜならその聲明書の理由とする所が正當なりや否やは見る人によつて異るとしても大學制度の中に一定の地位を官制上及び不文規律として認められてゐる教授團が一致してその意思を表示した以上は、その事柄自身に對しても、この問題の性質に就いて一考をしなければならぬからである

しかしながら考察を回避すべきで無いといふことは、直ちにこれを如何に考察すべきであるかを指示するものでない、そこにはこの問題の性質を認識するに當つて必然的に伴はれてくる種々なる考慮がある、又この問題の含蓄してゐる重大なる聯想問題がある、これらも一切の考慮と聯想とを合せて考察しなければ、この問題に對する態度などはさう簡單に定まらない、靜觀的態度は斯くの如き結果として生ずるのであつて極めて自然であると思ふ

しかしながら、問題の考察の困難なること、愼重を要する性質のものたることは、その考察を放棄していいといふことにはならない、いやしくもこの問題が世上の大問題となつて局外者が種々なる論議をしてゐる時に、又殊に大學を思ふ學生が熱心に事柄の正しき認識を得て善處すべきを熱望してゐる際であるせめて個人的の見解を披瀝して參考に供することは差支ないと思ふ

私はこの問題への認識が岐れる重大な點は、京都大學に起きた特殊問題に對して、如何なる意味における一般性を認むべきかの點に歸着すると思ふ、單に自己の屬する東京大學に對するアナロジー又は類例と認めて、最初より二者を區別した上での比較に終始する考へ方もあらう、この考へ方に據つても、その結論は必ずしも一致しない、なぜならこの問題には我が教育界の鬼門たる思想問題が含まれてゐるために、今日の時代としては、人々の意見は岐れざるを得ないのが當然であるからである

しかし私は京都大學の問題が我が東京大學に關係ありや否やの觀點から類推的に考察することを以てもつとも正しい考へ方だとは思はない、寧ろ根本的に京大事件といふ具體的問題の具體的處置に內在してゐる事柄が國家の問題として正當なりや否やを判斷しその結果として部分的に東大問題にも及ぶものと考へたい

前と同じやうに見えるけれども、觀點は大いに異なると思ふ、もし國家の問題として京都大學事件の處置が正しいならば、東大にも同樣な處置が下されることは事理の當然である、東大と京大との間に事實上の相違はあるであらうが國家の問題としてはそれは些細な事柄である

國家が問題といふのは、この場合は文政當局がその思想政策からマルキシズムの思想抱懷者として一教授を處斷するに當りその認定と異れる教授團、總長の意志を無視して強行したために多年大學の自治として又研究の自由のために保障せられ來つた官制と規律を破つたことである、問題の要點は思想政策の遂行者たる行政官廳が官權的に判斷するところと大學教授團の思想に對する自律的判斷とが一致せざる時は、長年慣行し來れる規律を超越し、官制勅令の規定にしつくり合はなくても便宜と必要との前には強權を以て處斷するも差つかへなきか否かにある

これは何人にとつても直に答へられない重大問題である

結局それは人々の有する國家觀の如何によつて決定するの外は無い、ファッシズムやコンムユニズムの國家においては決して生じない問題である、が、立憲自治の政體を有する國家において、始めて重大な問題たり得るのである、なぜならこの一事件に對する處置の含蓄するところは一見極めて些細の如く見えて、その實は政治的に極めて重大である

立憲自治の本義に照し、この事件の處置とその結果とは決して忽緖に付すべきで無い殊にそれが文政政策の府たる文政當局の行動に關してゐるにおいてをや、マルクス主義の本質が大學における研究、教授と相容れないものたるは明かであるが、その思想統制政策の遂行に當りてあたかもファッシズム的強權を適用するは、その手段によつて目的を裏切るものといはざるを得ない

およそ自由や自治の思想は非常時な危機の空氣の中においては生成し得ない今日の如き時代相の下に政府がややもすればその空氣に支配せられて強權を押し通そうとすることも有り勝である、これに反して自由と自治を叫ぶ者は政治的勢力から見れば、弱者である、しかもこの時に當りて京都法學部の教授團が敢然その信ずる所を以て天下に訴へてゐる勇氣は、國家のために尊重すべき事柄では無いであらうか、私は斯く信じ斯く語るのである

人事往來

▲加納大佐(第〇〇團參謀長)十九日正午來京
▲張軍政部總長十九日午後三時二十五分歸京
▲丁交通部總長同上
▲迫喜平次氏(交通部總務司長)同上
▲大城戸中佐(參謀本部)十九日午後四時二十分奉天へ
▲石野少佐(關東軍司令部)同上
▲齋藤中將(豫備役)二十日午前八時來京
▲金森德次郎氏(法制局參事官)同上
▲鈴木少將(陸軍省測量部長)二十日午前八時四十分ハルピンへ
▲加納大佐(第〇〇團參謀長)同上
▲世良大佐(關東軍司令部)同上
▲津田少將(旅順要港司令官)二十日午後零時三十分吉林へ
▲酒井清兵衛氏(吉長吉敦滿鐵代表)二十日午前八時來京
▲大橋外交部次長十九日午後十時內地へ

團体

▲海外協會視察團十名二十日午後一時四十分來京

滿鐵が考慮す
滿人へのサービスを
待合所に水のみ所の新設やメガホンの知らせ等

新京鐵道事務所では從來一、二等客即ち日本人及歐米人のサービスにのみ片寄り過ぎた嫌があり、滿鐵全收入の七十パーセントを占める滿洲人に對するサービスは比較的等閑に附せられてゐたのでこれを改める爲かねてより滿洲人への具体的サービスにつき研究中であつたが大体

一、三等待合所を改造、擴張し水飲み所を設ける、
二、各驛札には滿洲語をも用ふる事
三、三等列車附ボーイを一名增員する
四、メガホンによる案內は滿洲語でも行ふ
五、滿洲人向の食物を驛で立賣せしめる事に決定愈よ本格的滿洲人サービスに乘り出す事となり、目下着々準備を進めてゐるが、民族水平運動の一つの現れとして一般の注目を惹いてゐる

なし午前四時列車にて右賊團討伐に急行した

吉敦線に匪賊現れ
貨物列車を顚覆

十六日午後一時五十分頃吉敦線六道溝老爺嶺間進行中の貨物列車は三十餘名からなる匪團の襲擊を受け線路を破壞され、貨車一輛脫線顚覆した、これがため定明列車の大遲延を來したが幸ひ乘務員に死傷なく損害も輕微であつた

通遠堡に匪賊現る
邦人四滿人四を人質に拉致

〔安東十九日發國通〕十八日午後八時安東發奉天行旅客列車が通遠堡にさしかゝつた際匪賊の襲擊を受け邦人四名、滿洲國人四名拉致された

廣告詐欺犯逮捕

〔大連二十日發國通〕釜山府富民町廣告取扱業衛藤社藤瀨明男（三八）は十八日夜來連した所を擧動不審者として大連署員に檢擧されたが取調べの結果同人は奉天、新京等に於て出たら目の詐言を用ひ、商店、會社等より二圓三圓の廣告料を騙取し奉天だけの被害約五百圓に達してゐること判明引き續き取調中である

南米遠征のスポーツ使節
愈よ出發

〔東京十九日發國通〕全日本陸上競技聯盟南米遠征選手福井、住吉兩監督以下六名のスポーツ使節は二十日午後零時十五分東京驛發午後三時橫濱解纜の郵船案洋丸で鹿島立ちすることとなつた

亡き兄の跡を追ひ滿洲へ志す青年
血書を送つて就職を切願

「自分の兄は滿洲事變に出兵し滿洲の露と消へました、自分も兄の後を追つて、滿洲の地で奮鬪したい考へですどうか就職をさせて下さい」と血書を新京警察署長に宛て送附して來た一青年があつた

この青年は宮城縣黑川郡大谷村中村庄司正夫氏（二二）である、青年は小學校を卒業するや直に塗裝職人となり、二十一歲の春（本年四月）迄働きやつと一人前となり獨立獨步で進みたいが內地は不況で店を出すことは不可能であり、又自分は生れつき兵隊が好きで本年徵兵檢査を濟まし入營を志願したが短身で望みを失つたが自分の兄が、滿洲事變で戰死をしてゐる關係上滿洲をあこがれ活氣ある滿洲で一働きをしたい、自分の希望は滿鐵ペンキ塗職工、警察署小使、滿洲國兵隊でありますとの意味の血書を送附して來た

船員三名突如ゲーペーウーに射殺さる
驅逐艦大刀風出動す

〔東京十九日發國通〕海軍省發表＝北洋警備中の第四驅逐艦大刀風は去る十六日早朝大同漁業の富美丸が

『前夜』カムチャツカ東南クロノツキー岬附近で遭難したとの報に接し直ちに現場に急行調査した所次の事情が判明した、富美丸は出漁中、十四日以來機械故障のためエリモ岬附近に避難の止むなきに至り十五日午後三時半飲料水を求むる爲漁夫三名が海岸に向ふと不意に海岸監視兵らしきものより射擊を受け富美丸にも發砲を受けたので遂に大刀風に救助を求めた、大刀風は十七日搜索の結果富美丸の漁夫三名の死体を發見したが射殺者はゲーペーウーと認められるも山中に逃走したものゝ如く未だ發見に至らず大刀風は證據物件を押收した

『目下』カムチャツカ及中央に於て露國側に嚴重抗議中である

滿洲國にも
チユウリツプが見られる
五十嵐氏の肝入りで

滿洲國生れて茲に貳星霜土道政治は着々として健全なる發展を見つゝありしに熱河問題は既に解決し、五十年來北滿を

『從斷』し橫暴を極めつゝありし北滿鐵路も將に滿洲國有たらんとす、實に慶賀に堪へざる所なり。大日本帝國の生命線たり、將又世界人類の樂土として完成するの日も遠きにあらざるべし。然れども滿洲國の前途は多事にして多端なるは言を俟たざる所、我が同胞の躍起して之を誘掖すべき時季なり

敦圖線は既に完成し拉賓線も亦近く開通す、北鮮の要港として近く日本海に生れる羅津港も改修竣築に着手せり。

裏日本と稱されし北陸地方は表日本とはなれり。第六十四議會には伏木、新潟を經て羅津港に至る巡回航路も提出されたる程にて北陸地方の工業地帶として、大會社、工場林立し就中新潟臨港附近は

『平坦』なる沃野にして其の抱擁力に於ては日本海港灣中第一指を屈するも敢て過言ではない、やがて羅津港より輸出さる北滿材、大豆、豆粕、新潟より輸入を見るは、石油揮發油、機械油、織物、及金物、相細工、富山、福井、石川はもとより新潟として絹織物である殊に新潟の如きは、チユウリツプを全滿に普及する計畫あり。近く小山縣屬にチユウリツプ會社の事務片山三男三氏等が渡滿する旨越後新聞社長五十嵐辰豐氏に通信ありたる中、同氏は一昨年の事變以來全滿に亘り活躍し微に細に調査し、新潟縣と滿洲を結び付ける爲生命を賭して各地を奔走し、輸出入の促進に資しつゝあり、因に小山縣屬片山專務の外有力なる事業家三名を加へたる一行は來る七月三日鮮海丸にて新潟港を出發、雄基に上陸、羅津、清津、敦化、吉林を視察して七月十日頃新京に着、五十嵐辰豐氏の

『案內』にて、ハルビン、チチハル、奉天、大連を經て歸朝さるる筈

リレー、カーニバル出場選手決定
本野監督以下十七名が近く撫順へ出發

第四回リレー、カーニバル競技會は來る二十五日撫順において開催されるが新京体育聯盟では左記選手を派遣に決定一行は監督本野仁治氏引率の下に二十四日午後四時三十分新京發、二十六日午前六時四十分歸着の豫定である

△室町小學校　松崎勇、堀切榮熊、平川博行、光野定衛、川野達也
△商業學校　矢崎幸男、伊藤愼吾、伊藤行也
△機關區　山崎儀信
△列車區　山元孝
△新京驛　肥後盛夫、末永繁正、中村秀雄、大塚兵司、田中正
△測候所　野本政行

陸上競技部で新會員を募集
早大選手來京を控へ

帝都スポーツ界の花形早大陸上競技選手一行を迎へて日滿融和意義深き空前の對抗競技はいよいよ七月十六日新京西公園トラックで擧行されることになつたがこの一大壯擧を遂行のため主催者の新京体育聯盟では一般後援の意味で此際陸上競技部會員を募集することゝし各關係方面へそれぞれ勸誘狀を發した、會費一圓、會員の特典としては左記の通りで此際ファン諸君の入會を歡迎すると

一、陸上競技部の競技會には無料のほか婦人家族一名及び子供二名まで無料
二、座席はメンスタンド
三、プログラム配布
四、陸上競技部に關する諸般の報告

匪賊又もや各所で蠢動す
日滿當局掃蕩開始

十八日から十九日にかけ奉山線營口支線、吉敦線及び安奉線に時を同じうして匪賊被害あり、初夏の旅行者をして不安の渦中に陷らしめた

襲擊の手口等より見て組織的且計畫的なる模樣であるが、昨夏の如き政治的意圖を持つものに非ず單に金品を掠奪、人質を拉致して身代金を强要せんとする所謂滿洲馬賊の仕業なること明かであるが、日滿警務當局では過般の中央治安維持委員會の決定方針に基き之等不逞分子の蠢動に對し鐵鎚を下し、大掃蕩を斷行すべく鐵道沿線警備配置を嚴にすると共に積極的討伐行動を開始した

吉敦線額穆附近で匪賊列車を襲擊
吉林より討伐隊急行

十九日午後零時二十分頃吉林午前八時三十分發新京行列車第六十一號列車が新京より百七十八キロの地點六道河驛と額赫穆驛の中間に差しかゝるや匪賊四十名の一團線路の大釘四本及繼目板二枚を破壞した爲、大音響と共に貨車四輛脫線顚覆、二輛追突破壞したが匪賊は乘組の滿洲國鐵道守備兵三十名を拉致したが死傷はない模樣である、急報により吉林より三中中尉、戶口特務曹長以下〇〇名は裝甲列車で現狀に急行すると共に午後四時匪賊討伐の爲め吉林より一ケ〇〇隊が出動した

安奉線を襲擊

〔奉天十九日發國通〕十九日午前二時五十分安奉線林家臺を發した第三列車が同驛を三粁の地點に差しかゝつた際突然數十名の匪賊襲來し、進行中の機關車に向け一齊猛射を加へ彈丸は食堂車の窓硝子二枚を破壞して乘客連山關驛助役夫人鈴木ヒデ（廿二）さんは顏面に重傷を負ひ、列車內は一時大騷ぎを演じた急報に連山關守備隊は直ちに非常召集を

匪賊二百名
營口行列車を襲擊

十八日午後六時盤山發營口行列車が河北驛附近に差かゝりたる際乘客を裝ふ匪賊十五名は突如ピストルを乘務員に突きつけて急停車を命じ、同時に烽火を合圖に二百餘名の匪團が列車目がけて殺到、防戰せんとした露人巡警二名を射殺し、恐怖に戰く乘客百五十名（內日本人一二名）を尻目に悠々金品を掠奪し暗夜に紛れて逃走した

急報に接し驅せつけた盤山守備兵は目下右匪賊を急追中

發車間際に乘車せんとし轉落
危ふく一名を取止む

十九日午後十時新京發第十六列車が發車するや遲れ馳せにかけつけた鼠色の脊廣を着た男が驛員の制止をも聞かず列車に飛び乘らんとして顚倒、ホームと列車間にころげ込み一時は大騷ぎであつたが九死に一生を得、驛員に助けられて、ホームに運び上つた、右は取調の結果、市內祝町居住加藤某（五十）假名と判明、係員では最近飛降、飛乘が非常に多いのでこれが對策につき講究中である

趙欣伯氏の著
明仁鑑頒與

滿洲國立法院長趙欣伯氏は明仁鑑と云ふ自著を印刷に附し日滿各界に寄贈した、李槃、馮涵清、丁鑑修、張燕卿、胡嗣瑗、張景惠、諸氏の序、鄭孝胥氏の題字があり內容は辨言信義仁愛、良好政治の綱要、黑劣政治の要因、忠姦論歷代忠姦綱要表、結論、偶感、魔谷の雷聲、明仁鑑補餘の日漢兩文

開魯に
西分省警察局を設置

興安省東北南各分省には既に札蘭屯、海拉爾、遼爾漢に夫々警察局あり、分省內の警察機關統制に當つてゐるが、西分省には未だ警察局の開設を見ず單に縣警察に依つて警察事務の實際に當つてゐるので統制上種々の不便があつた、興安總署では之に鑑み西分省警察局の設置に就いて極力準備を急いでゐたが、この程漸く成案を得たので二年度豫算の通過を待つて愈々開魯に警察局を開設する事になつた

阿片密賣者の家に三人組强盜團
此種業者を徹底的に取締る

十九日午後八時三十分ごろ東四條通十四番地禁制品扱尹奉楨方へ阿片吸飲者を裝ふた拳銃所持の三人組强盜團か押入り、居合せた客四名を二階に追込み三名の內一名が見張をなし、一名が煙館一名が尹の妻の居室に押入り拳銃を突付け脅迫し金票七十圓、現大洋二圓、吉林官吊三千九百吊、阿片七十匁を强奪逃走した、急報に接し新京署では署員の非常召集を行ひ犯人搜查に努めたが逮捕するにいたらなかつた

右に就き倉田司法主任は語る

最近市內で强盜に襲はれる家はいづれも禁制品扱者が多い、これ等の密賣者はこの際徹底的に檢擧し嚴罰に處す方針である

苦力の拂底に乘じて惡苦力頭が跳梁
建設熱の生んだ新しい犯罪

〔大連二十日發國通〕滿洲國の旺盛な建設熱が生んだ特殊な犯罪が大連に流行して當局を手こずらしてゐる、本年解氷期に入ると共に奉天、新京ハルビンの各種建設事業は猛烈な勢で勃興し爲に潮の如く滿洲に押し寄せた山東苦力の群は悉く奧地に吸收されて旅大方面は需要の半數も滿たすに至らず最近土建請負業者は苦力の爭奪に火花を散らしてゐるがこれに乘じて惡苦力頭が盛んに跳梁し苦力の申込みを受けた苦力頭か手附金を詐取するもの續出し既に大連署には此の種犯罪に關する請負業者の告訴狀が數通提出されてゐる

建設の新京
銀座となる回教徒の墓

將來の新京の銀座となる南嶺の北方大同路と新設される中央線より來る大道路との交叉點は現在回々敎徒の墓地であるが是が墓地は約二萬六千餘坪の靈地にして二千年の昔より墓の移轉變更を絕對禁止されてゐる爲、建設當局と敎徒間と協調交涉せしが結局纏らず今日迄手も付けられずあつたが是を聞いた敎徒の一人邦人河村敎堂師は態々北平より來京、山村憲兵隊と協力し建設局、敎徒間を奔走努力の結果此程圓滿解決を見たので、近く移轉工事に着手される筈である、寫眞は回々敎徒の第一人者河村敎堂師、銀座となる回々敎徒の墓（右×印）

兒玉參謀長
奉天着

〔奉天十九日發國通〕兒玉朝鮮軍參謀長は副官を從へて昨日午後二時十分着安奉線で着奉、小憩の後三時十五分發ハト號で新京に向つた、兒玉參謀長の赴京は高梁繁茂期に於ける間島、龍井村、局子街等國境方面の匪賊跳梁を目越して關東軍當局とこれが警備打合せのためと觀られるが記者の質問に答へて左の如く語る

國境方面の匪賊は關東軍と協力討伐せねばならぬが今回はその打合せの爲めではない自分の新京行きには何等の意味はなく、ただ新興滿洲國の氣分を味ふためである

と嘯いた

ラジオ欄

廿一日（水）
新京　奉天後四、〇〇レコード相場　商業通信社
新京後四、三〇演藝
同　後五、〇〇講演亞細亞ニ［illegible］
於クルト族協和會　樹聲
同　後五、三〇ニュース（滿洲語）
東京後六、〇〇ニュース　中央放送局編輯
新京後六、二〇演藝
同　後七、〇〇ニュース（語）
同　後七、一〇ニュース（西亞）
同　後七、二〇ニュース（鮮語）
同　後七、三〇ニュース豫報、放送局編輯及プログラム豫告
同　後八、〇〇演藝
東京後八、三〇時報
東京後八、三一ニュース　中央放送局編輯

けふの銀錢場

鈔票對金票　［illegible］
現大洋對金票　［illegible］
金票對鈔票　［illegible］
現大洋對鈔票　［illegible］

幕末異聞 愛慾火箭（八十九）

作 瀧川駿　畫 村瀬洗舟（上演禁）

逆星三流（四）

武藝十八番二十六藝指南所と筆太に印した看板を、牛込榎町に掲げて、密かに天下の浪人を募つてゐた由井民部正橘正雪と言ふ大いか者の道場を訪ねた、皿廻師があつた。

この男が、この主人の祖々爺に當る秦式部安利だつた。

浮世を拗ねて、皿廻師こそしてゐるが、天文の大家だつた。この秦家の先祖は、遠く唐土の周時代に榮えた陰陽師だつた。――逆星三流の一卷を提げて日本に渡り、陰陽を傳へたのである。その家元の式部が、三十六藝指南所と言ふ看板に腹を立て、正雪の道場を訪ねたのであつた。

無論、試合をして看板をはずして蹴る氣なのであつた。

『先生が御在宅ならば、是非お手合せを願ひたい』

當時三千の門弟を持ち江戸一とうたはれた、正雪の道場の玄關先に立つて、斯う聲をかけるからには、相當腕に覺えがあつた。

『暫らくお待ち下さい。――して試合は？』

『陰陽天文で御座る』

『お名前は？』

『皿廻師とお傳へ下さい』

暫らく經つて、一間へ案内された。そこは道場でなく、立派な客間だつた。やゝ間を置いて、道場の主人、由井民部正が現はれた。

例の總髮を美しく、後へ撫で大名縞と小姓を隨へてゐたが、皿廻師の顏を見ると、急に上座に直して、愛想の限りを盡し、辭を低うして、

『拙者、斯樣な看板掲げてゐるなれど、多寡が紺屋の倅、何うして武藝が出來ませうや、謂はば山師で御座る』

『えッ？』

皿廻師の秦式部が驚いた。

『何卒、拙者にその逆星三流の天文術をお教授に預かりたい』

―試合に行つた道場の主人が、斯う言ふのである。

『馬鹿な』

と思つたが、根が拗ね者の秦式部。その氣性に感心して、逆星三流を讓る事とした。

その内に、時機を見計らつて正雪が、謀反加盟を話したのであつた。

『斯樣な譯で、祖々爺は謀反に加盟したので御座る』

主人の長話に、與四郎は聞き入つてゐた。

『それが當家の掟にて、男兒以外にこの術を傳へてはならぬと言ふ事になつてゐるが、不幸にして拙者の代になつて、男兒なく、この儘逆星三流を絶やすのは、祖々爺の志しに叛くものと心配してゐた折柄、一昨夜、ふと乾坤に漲る妖雲の間に、惑星を見咎め申したので、近日中にこの術を受繼ぐべき人間の現はれる事を知り申したので御座る……』

『えッ？ では拙者の來る事が一昨日から解つてゐたので御座るか？』

『左樣！』

馬屋で馬の嘶きが聞えた。もう夜明けに間もないと見え、四邊にそれらしい氣配が漂ふ。

夜の引き明け頃の寒さに、當家の主人は胴服の襟をかき合して、圍爐裡に薪をたした。

『――で貴殿の簡單、尊王倒幕も遠くは我が祖先の策した事に理は同一』

『え？ それまで御存じで御座るか？』

自分の心まで見抜かれ、與四郎は思はずどきつとした。

で與四郎は自分の身の上に就いては、語る必要がなかつた。餘りにも詳しく主人の老人が知つてゐたから。

――夜は明けた。靜かな大空に輪を描いて鳶が舞ふ。

旭光の映じた彼方の谷川の岸に、手桶をさげた娘の姿が見えた。

六月廿五日　舊五月廿九日　水曜　戊午　先負　建　參宿

●一白の人 旺盛に安んぜず思慮分別を廻すが肝要なり 未と庚と寅が吉
●二黒の人 自ら墓穴を掘るが如き日本業以外控ゆべし 丁と辛と亥が吉
●三碧の人 平康を保つの日身心の動搖するは障害起る 未と申と癸が吉
●四緑の人 營々として常業に滿足すべき日企業計畫凶 辰と未と子が吉
●五黄の人 目下の爲めに迷惑を惹起することあり注意 丙と酉と子が吉
●六白の人 節義を重んじ德育を旨とすれば招福すゝ兆 乙と坤と戌が吉
●七赤の人 身動きならぬ日外の形勢を察し愼重たれ 卯と酉と寅が吉
●八白の人 驕奢を愼しみ華美に耽らぬ樣質素たるべし 丁と庚と艮が吉
●九紫の人 氣運[illegible]大なれども奸邪に陷らぬ樣注意肝要 甲と辰と戌が吉

新京日日新聞
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮男　編輯人 松本啓二　印刷人 谷

二十日の委員會
石井帝國全權最惠國問題で
日本の意見を主張

〔ロンドン十九日發國通〕二十日の經濟會議經濟委員會で石井首席全權は最惠國條款問題に關する日本の意見を主張する事になつた即ち關稅貿易制限等の問題の根本は結局最惠國定款に歸すべきものである、從つて經濟會議は先づ第一に最惠國條款に就き明確なる原則を確立する要がある、而して現在では最惠國條款が存在しても輸入割當其他色々な制限事項に妨げられて最惠國條款の本來の機能を發揮出來ない狀態だから、先づ最惠國條款に附せられたかゝる制限を除去すべきだとの趣旨で意見を開陳し最惠國條款の完全な機能發揮を主張する豫定である

英國の經濟的排日
愈よ露骨化す
經濟會議で不信を糾彈せん

〔東京二十日發國通〕英帝國經濟ブロツクの構成露骨で日印通商條約廢棄の手始めとして綿布關稅引上及アフリカの最惠國待遇中止更に十五日でマレイ聯邦の關稅引上等事態容易ならず、外務當局は取敢ず田村總領事をしてマレイ政府に抗議させ、同時に松平大使をして英政府に警告せしめ、石井全權をして經濟會議に英國の不信行爲の非難的通告文を提出せしむる事に內定し、右通告文と訓令案の起草を開始する事となつた

通貨分科委員會で
米代表金本位制に重大提案

〔ロンドン十九日發國通〕經濟會議は本日經濟、通貨兩委員會を開き午後五時兩委員の分科委員會を開催したが、米代表は通貨委員會の分科委員會に對し金本位制度に關する重要なる一つの具體的提案をなした、右提案は各國が金並に金塊の國內流通を撤回し、更に金準備率を二割五分見當に低減せんとするもので其要旨左の如し

一、金貨又は金塊は之を流通揚裡より撤回すべし
一、通貨發行に對する金準備率を現行各國の法定率より引下げ各國一率とす
右一率法定準備率は二割五分を妥當とする
一、各國中央銀行代表者を即時招集し以上の對策を採擇すべし

因に金準備率低下は現行三割三分乃至四割を二割五分に低下せんとするものだから發行限度の擴張、而して世界的に通貨增發を容易ならしめる効果ある譯だ

印棉の不買で
米棉の使用增加

〔東京廿日發國通〕東京、名古屋の各綿糸市場は現在標準品に二十番手を採用してゐるが、印棉不買の爲米棉使用の增加と共に更に第二回會議を開き研究する事となり民間業者とも打合せの必要があるので會議開催には相當時日を要し、早くとも八月上旬だらうと見られてゐる

門野代表
ク貿易監査官等と會見

〔ロンドン十九日發國通〕門野顧問は英國海外貿易監査官クロー氏及び英國工業聯盟代表ロツコク氏と長時間に亘り會談を行つた結果、門野顧問がランカシヤを訪問する代りにランカシヤの有力綿業者が個人的に門野氏を訪問し日英當業者協議書の話を進める事となつた

印棉不買と關聯して
支那綵輸入差控へ

〔大阪二十日發國通〕綿絲布同盟會は昨日午後五時綿業會館に理事會を開き印綿不買と關聯して支那綵の內地輸入を差控えると申合せた

綿糸細番手
增加の模樣

〔大阪廿日發國通〕細番手傾向の北紡績は一層細番手の生產增加を見る模樣で、現在の廿番手標準の意を失ひ買占責崩しされる恐れあり、綿糸取引所では對策研究を開始した

米國提案の
金準備引下げ
實現せばインフレ景氣出現
爲替銀行筋の觀測

〔東京廿日發國通〕米國の金準備引下げ提案に關し我有力爲替銀行筋では結局之が實現を見ることになりはしないかと觀測し、左の點を指摘した

一、金準備を引下げることは各試事つてインフレーションを行ひ物價吊り上げをなさんとするもので、漸くして平價切下げにより金本位停止國が金本位に復歸せんとする前提だ
一、現在各國の金準備中日本四割一分八厘、英國は四割九分八厘、米國は八割九分五厘等で金準備引下げが實現せば各國は大いにインフレーションを行ひ得る譯で例へば日銀は十六億圓迄兌換券を發行し得る、しかも金準備率二割五分の二割までは銀を從とし得ることゝなるのでインフレーションでは益々樂に出來る
一、隨つて米國の提案が實現せば日本財界は、インフレ謳歌氣分で好影響を被るに至らん

滿鐵株主總會
東京支社で開催さる

〔東京二十日發國通〕滿鐵株主總會は二十日午後二時から東京支社に於て開かれたが、滿鐵七年度營業收支決算及び事業豫算支出額を左の通り發表した（單位圓、括弧內六年度）

營業收入　二四五、九四〇、六七五（二七一、〇五四、四〇二）
支出　一八四、六五二、九五〇（一七四、四五五、七八二）
損益（益）　六一、二八七、七二五（損二、四〇一、三八〇）
事業　一六、一三三、六五五（二六、八二九、四三九）

尙七年度益金處分額は法定積立三百十萬圓、特別積立金三千二百萬圓、政府配當九、三三七、七〇八圓（年四分三厘）政府以外株主配當、千百二十萬圓（年六分）同第二配當三百七十三萬三千三百三十三圓（年二分）役員賞與並に交際費四十萬圓、八年度繰越金七百三十四萬八千七百二十一圓

日本品に
不法取扱
大連海關を追はれた支那海關吏

〔大連二十日發滿通〕滿洲國政府當局が實力を以て大連海關を接收して以來同海關を追放された支那人海關吏の其後芝罘龍口向けの日本商品に對する海關取扱ひは極めて苛酷嚴重となり且屢々不法取扱ひを爲すので同方面に對する日本人貿易業は今や非常なる窮境に立つに至り當局に依賴して支那側當局に嚴重抗議すべく寄々協議中である

北樺太邦人虐殺事件
大田大使を通じ嚴重抗議

〔東京二十日發國通〕北樺太に於ける露人の邦人三名虐殺事件に關し外務省は十九日目下ウスカムル出張中の野口書記生を現地に派遣し眞相を調査せしめると同時に本日直にモスコー駐在大田大使を通じ蘇聯當局に對し嚴重抗議を提出することになつた

參議府會議

二十日午後二時より國務院參議府會議室に於て參議府會議を開催張議長以下各參議出席國務院會議上程議案を審議可決、執政の御裁下を得て左記敕令を以て即日公布される筈

一、敕令第四十九號河川航運業法
一、敕令第五十號特別市制中修正の件
一、敕令第五十一號特別市指定の件
一、敕令第五十二號北滿特別區公署官制
▲長官一名特任若くは簡任
▲理事官五名簡任若くは薦任
▲秘書官一名
▲事務官二十名
▲警正九名
▲技正二名
▲視學二名
▲屬官、警佐、技士、巡官各若干名
一、敕令第五十三號北滿特別區公署に參事官設置の件
北滿特別區域は東省特別區域よりハルピン特別市を除外したもの
暫く北滿特別區に參事官三名以內を置き長官の諮問に應じ重要なる區務に參議する
一、敕令第五十四號國務院各部官制中修正の件
北滿特別區長官を加へる

第廿七次
國務院會議
決定事項

第二十七次國務院會議は十九日午後二時より國務院會議室に於て開會、鄭國務總理以下各部總長出席、次の議案につき審議可決した

一、特別市制中修正の件
現行特別市制は特別市政公署に總務、行政及工務の三處を規定しをる處哈爾濱特別市に財政に關する事務を司る處を追加する件
二、特別市指定に關する件
現在の哈爾濱市政籌備所は其接續地域を加へ大哈爾濱市の組成に努力中なりし處來る新會計年度より之を特別市に指定するの件
三、北滿特別區公署官制の件
東省特別區を北滿特別區と改稱し同時に北滿特別區公署官制を制定しその行政機構の組織化を圖るの件
四、北滿特別區公署參事官設置の件
五、國務院各部官制中修正の件
六、古蹟保存法案
滿洲國は古い歷史を有し殊に滿洲に於ける民族の興亡及文化の變遷多く史實は豐富であるのみならず古跡も亦頗る多く政府に於ては古跡と稱さるゝもの即ち古墳及城寨、烽燧臺、驛站、廟宇、陶窯等の遺址、戰跡其他の史實に關係ある遺跡並に貝殼、石器、土器、骨角器類の埋藏する先史遺跡等を指定し之等に對し適當なる保存方法を講じ又其等の損壞散逸を防ぐ爲新法律の制定をなすのである
七、官吏服務規程
官紀綱紀の振興伸張を圖る爲官吏の職務上の義務を明定し同時に其の服務の規準を明示するもの

察哈爾問題解決に
南京政府が馮の移駐を希望

〔北平十九日發國通〕南京來電に依れば本日午後の臨時會議で察哈爾問題は馮玉祥の要求五項を容認する事となつたが、其の內に馮に依然として張家口に頑張らしては眞の解決がつかないので宋哲元の歸任と同時に馮は張家口の西北三十支里の萬全縣にうつることを條件として最後の交渉をせしめるべく何應欽に嚴命した

露滿交渉は
外務次官邸で
二十五日から開始
露滿直接交渉主義で進む

〔東京二十日發國通〕北滿鐵路賣買交渉は二十五日から霞ヶ關の次官邸で、滿洲國代表駐日滿洲國公使丁士源氏以下五名、蘇聯代表ユレチーフ大使、極東部長カスロフスキー氏副理事長クズネツオフ氏等と直接交渉主義の下に開催されるが、我政府は交渉停頓の場合に限り內田外相、重光次官等斡旋を試みるとし原則として不干與との方針決定す、蘇聯政府は滿洲國を正式承認することゝなるので、我政府でも正式成立を希望し、他の紛爭問題に論及せざるやう露國政府に注意喚起の筈である

沈瑞麟
買收交渉に
東京行き

〔ハルピン二十日發國通〕北鐵理事沈瑞麟は北鐵買收の東京會議に參加する事となつたが沈氏の出發を控へて滿洲國側の最高首腦部打合せ會議は連日行はれてゐる

露人從業員
買收後も滿洲國に
居殘りを希望

〔ハルビン廿日發國通〕滿洲國が北鐵を買收した曉は北鐵の露國側首腦部は本國の總退却すべしとの命令が交通人民委員長より發せられるだらうと露人鐵道從業員の間に取沙汰されてゐるが、大部分の露人は本國に歸還するを欲してゐない、即ち共產主義の一點張りの極めて窮屈な赤色露西亞より王道樂土の自由な滿洲國が遙に安樂だと云ふにある蘇聯鐵道從業員は前途に多大の不安を感じてゐる

藤根國道局長出張

滿洲國々道局長藤根壽吉氏は目下構築中の國道觀察の爲二週間の予定で二十日熱河承德方面へ向つた

外國人入國
取締規則制定
十七日附で公布さる

外國人入國取締規則制定公布に關しては十七日附民政部總長副署の下に民政部令第七號を以て次の如く公布された尙外交部では外國人入國旅券査證事務に關する規則を發表して六月一日より之を實施してゐるが民政部に於ても之が姊妹法たる一般外國人の入國取締規則の公布につき鋭意研究を重ねたが外國人の取扱は其の影響する所頗る重大にして取扱の適否は國際的にも種々の紛糾を生ずる可能性あるを以て愼重各方面とも協議を遂げ愈々成案を得て茲に取締規則の公布を見たのである其の內容は該規則の條文の通り外國人にして滿洲國の利益を害し公序良俗を紊す虞あるが如き者は斷固として之が入國を禁止し若くは退去を命じ以て獨立國としての立場を闡明したるものであるが猶之毫も門戶を閉鎖したものでなく新興滿洲國を認識し此の規則の下に入國する者に對しては欣然として門戶を開放することは建國當初の宣言に聊かも變化を來してゐない

外國人入國取締規則案

第一條　本邦に入國せむとする外國人にして左の各號の一に該當する者は別に指定したる官署に於て其の入國を禁止することを得
但し從前の條約又は慣行に依り入國に付旅券査證を要せざる者にして旅券又は國籍證明書を所持せさる場合は此の限りに在らず
一、旅券又は國籍證明書を所持せさる者
二、本邦の利益を害し公安を亂し又は風俗を紊す虞ある者
三、公衆衞生上危險なる疾患ある者
四、公私の救助を要すへき者
前項第一號の旅券及國籍證明書は本人の寫眞を貼付したるものにして旅券が我が當該官署の査證を受けたるものなることを要す

第二條　前條第一項の官署は本邦に入國せむとする外國人に對し百圓以上の提示を求むることを得

第三條　本邦に入國せむとする外國人は警察官吏の請求に應し旅券又は國籍證明書を提示し及第一條第一項各號其他必要なる事項の調査に關する推問に對し眞實なる陳述を爲すへし

第四條　前條に依る警察官吏の請求に應せす又は其の推問に對して眞實の陳述を爲さざる者は入國を禁止し又は國外に退去を命することを得

第五條　本令施行期日に於て本邦入國の途中に在る外國人にして正當の理由ありと認むるときは本令第一條第一項第一號の規定を適用せさることを得

第六條　本令は大同二年六月十七日より之を施行す

民政部令第八號民政部令第七號に依る官署指定の件
民政部令第七號外國人入國取締規則第一條の官署を指定すること左の如し

一　各省長（奉天、吉林、黑龍江、熱河）東省特別區長官
一　首都警察總監　哈爾濱警察廳長
一　各國境警察隊長（安東、山海關、滿洲里、綏芬河、瓦房店）
營口海邊警察隊長

大同二年六月十七日
民政部總長　臧式毅
代理部務次長　葆

呂通商司長視察

外交部呂通商司長は六月一日より開設された安東、營口、大連各旅券査證辦事處視察の爲民政部の谷外事科長、外交部の朱事務官同道二十一日午前九時南行の予定である

人事往來

▲中野琥逸氏（熱河省總務廳長）十九日來京國都ホテルへ
▲王稅務課長（奉天市政公署）同上

天氣と氣溫

けふの天氣北東の風晴時々曇り驟雨模樣、二十日の氣溫最高二十八度最低十四度四

滿人家庭にも上下水の設備

漸く一般にも認識されて最近初めて申込み

新京城内に於ける上下水道は現在大馬路および三馬路に敷かれてゐるが一般の引込み設備としてはただ新政府關係のみで他は

＝全然＝ 皆無で上水は全部賣水を一ぱい幾らで買ひ、下水はこれを一々汲取つてゐるところが最近に至つて一般でも上下水を引込みたいとの希望者がボツボツ現はれ既に市政公署へ上水八口下水十三口の申込みがあつた、同公署水道料では直ちに實地調査のうへ水道管と引込場所の距離に應じてそれぞれ工事費を決定し豫納金制度によつて近く工事に着手するはずで、今のところ主として湯屋、料理屋その他特に必要なものに限られてゐるが

＝今に＝ 城内の滿洲人家庭でも上下水設備の必要を認識して漸次一般に普及されるであらうといつてゐる

愛婦新京分會 廿三日に總會

入會を本部で希望

愛國婦人會新京支部の發會式は本野會長以下同會東京本部の幹部の來京を迎へ

＝來る＝ 二十二日擧行の筈であつたが都合で一日操延べ二十三日午後一時から新京高等女學校講堂で擧行に確定したこの發會式擧行に至る迄には都合婦人會幹部は非常に斡旋に努め相當の入會者も出來當日盛況を豫想されてゐるが尙内地等で入會ずみの向新らたに入會の仁も萬障を繰合せ是非列席されたいと希望してゐる又服裝はふだん着のままで結構であると云ふことになつて居ると因に發會式後引つゞいて本野會長の

＝講演＝ もあるから會員外の婦人方でもなるべく汎く來聽される事を歡迎するさうである

全滿猶太人 ヒツトラーの彈壓に憤慨

ドイツ首相ヒツトラーの猶太人彈壓の影響を受けて過般奉天に於て在住猶太人百余名は結束してドイツ商品取扱を排擊するボイコツトに反ヒツトラー運動を起し全滿猶太人の團結を圖つた一方反猶太人運動の渦中は之に對立し、全滿にわたり猶太人聯盟を組織し抗爭せんとしてゐるが、今まで過少の爲沈默を持續してゐた新京在住猶太人も非常に憤慨し奉天猶太人民會と呼應し、ボイコツトに參加せんとしてゐる

城内接客女の健康診斷

新京總領事館警察署では二十日午後一時から管内の雇婦女並に藝、酌婦の上半身の健康診斷を行つた、受檢總數三百十九名内トラホーム二名で成績良好であつた

非常時に於ける兵器の知識

大砲の命數、價格、彈數等

□ 今日の野砲の發射速度は一分間十六發位であるが、しかし一分間續けざまに十六發も發射することは滅多に無い、それは既に殺した人間に或は既に破壞した物体に向つて、更に彈丸を發射することになり無駄な事であるからだ、そこで自分の方から擊つた彈丸を一發一發觀測して、其の結果を見た上で次の彈丸を擊つのが砲兵射擊の通則である それともう一つは、さう續けざまに澤山の彈丸を發射すると、火藥瓦斯壓と熱の爲に砲身が損傷して役に立たなくなつてしまふからである

□ 新の如き理由から、精々一分間に七八發位が關の山と見てよからう、それにも拘はらず一戰役間砲兵の擊つた彈丸は莫大な數にのぼるのである 日露戰爭で日本軍は百四萬發、露軍は百五十萬發の砲彈を消費してゐる

歐洲大戰ではモツトモツト多く、佛軍は三億四千萬發、英軍は三億萬發獨軍は五億八千萬發、伊太利軍は四千七百萬發、米軍は八百五十萬發を消費してゐる、かのベルダン戰では佛軍は六百萬發を擊つてゐるから、平均一日に三十萬發を擊つたことになる、同じくベルダン戰で獨軍は二週間の間に十二萬噸の砲彈を發射してゐる

□ 次に大砲は何發位發射したら役に立たなくなるであらうかを調べて見るに、勿論それは大砲の金質、使用火藥の種類、連續發射の時間と彈數等によつて差異はあるが、口徑が大きいほど命數が短い事は一般に通ずる事實である、口徑七糎半位の野砲では、一萬八千發も擊てば大概使へなくなる、口徑十五糎級だと一萬發位、三十糎級になると一千發位、もつと大口徑になると數十發で駄目になる物もある

＝ そこで今一個の大砲が役に立たなくなるまで其の大砲で發射する彈丸の總價格と其の大砲の製作費との割合を見るに、彈丸の消費價格の方が遙に多く、通常大砲の製作費の十五倍乃至二十倍である、それでは重量の比はどうかと云ふに、消費彈丸の總重量は其の大砲の重量の百倍乃至三百倍であるといはれてゐる

大砲の製作費は時代によつて勿論一樣でないが、最近一門の製作にどれ位かかるかを調べて見ると、新式野砲（野砲兵用の口徑七糎半の砲）二萬圓、高射砲（口徑七糎）が約二萬五千圓、十五糎榴彈砲が三萬三千圓、十糎加農が三萬五千圓、曲射步兵砲が二千圓で彈丸は一發平均五六十圓の割合である

今年の聚樂も

健康兒は星ケ浦へ 虛弱兒は熊岳城へ

兩校でそれぞれ準備中

滿鐵本社では例年の如く本年も沿線各地の小學兒童の聚樂を行ふが場所は例年にならつて健康兒は大連の星ケ浦、虛弱兒は熊岳城で、室町、西廣場兩小學校は

＝既に＝ 希望者の調査に着手してゐる、聚樂兒童は健康兒五年以上、虛弱兒三年以上六年迄で本社の定員は總數健康兒三百名宛二回、虛弱兒七十五名宛二回で、第一期は健康兒七月二十日より同月二十六日迄、虛弱兒七月十六日より同月三十日迄、第二期健康兒七月二十九日より八月五日迄虛弱兒七月三十一日より八月十四日迄で、二十日迄の兩校の希望者は室町小學校の星ケ浦行二百名、熊岳城行九十名西廣場小學校星ケ浦行九十名熊岳城行百五十名である、なほ兩校では希望者の締切後

＝校醫＝ の健康診斷を行ひ傳染病保菌者、心臟病患者等の疾患者をオミツトして何等疾病なき健康兒を星ケ浦へ又熊岳城へは是非入浴の必要を認める虛弱兒をそれぞれ選出する筈で、人數は本社の指定に從つて確定する費用は、食費として星ケ浦が一日三食五十錢熊岳城は同五十五錢で、旅費の方は社員であれば當然パスが發行されるが社員外の者は各學校で負擔するさうで、結局不必要になるわけである、何も知らない無邪氣な兒童等は希望さへすればすぐ行けるものと早合點し今から

＝聚樂＝ の快味を夢見て指折り鶴首してゐる

般若寺の移轉

新國都の幹線大同大路の眞正面に頑張つて國都建設局を手古ずらせた、問題の般若寺も最近引越費用の交涉纏つて愈々移轉する事となつた同寺は新京を中心に數萬の宗徒を有し、金融逼塞した事變直後に當り莫大な獻金を集め新築成つたばかりであつた寫眞は移轉に定り取壞し中の般若寺、前方廣場は工事中の大同路

憲兵將校補充に 憲兵大尉六名來滿

關東憲兵隊司令部管下將校補充のため内地より來滿する在東京憲兵練習所短期教育終了者六名中先發組祖父江久積兩憲兵大尉は十九日午後七時五十分入京、二三日在京の後憲兵司令部の指示を受け、それぞれ任地へ向け出發の筈である尙他の四將校も今明日中着任の筈でその氏名並に任地左の如し

熱河 憲兵大尉 祖父江儀一
ハルビン 同 久積健三郎
チチハル 同 和田昌雄
奉天 同 菊地覺
新京 同 星實敏
佳木斯 同 早川唯一

學生視察團 大學七月來滿

（東京二十日發聯通）滿洲國の產業建設視察研究の爲兼ねて青年學徒の視察團計畫が進められて居たが、帝大學生百四十七名を筆頭に各專門學校から參加學生千二十名餘の詮衡を終り、七月十四日東京出發渡滿せしむることになつた視察團々長は前東京市長永田秀次郎氏である

不逞鮮人テロ團 改心皇軍に歸順

（ハルビン廿日發聯通）不逞鮮人李來、柳來悅の組織するテロ團は滿洲事變後新京を中心に各方面でテロ行爲を行つてゐたが、最近に至り頭領間の內訌の結果、大分裂を來たし併せて時勢の變遷と自己を悟り正業に就かんとして使者を某所に駐屯する皇軍に派し歸順の意を表して來た由

西部シベリヤにペスト以上の惡疫流行

（ハルビン二十日發國通）當地に達した情報によると最近西部シベリヤ方面ではペスト病より遙かに恐ろしい得態の判らぬ傳染病が猖獗し一度犯されたが最後百發百中死亡すると云ふので住民は多大の恐慌を來たして居ると、官憲も施す術なく惡疫流行地方との隔離によつて病魔の傳播を極力防止してゐる有樣であると云ふ右事實とすればシベリヤ經由歐亞聯絡旅客に取つては空前の脅威である

世界一の大女來る

旗蒙科旗務科を充實 ラマ寺を管理

その統制に當る

舊東北政權時代に於て蒙古の行政機關として國民政府の蒙藏院あり、

＝直屬＝ り、屬人主義に依つて蒙古一帶の行政を司つてゐたが、滿洲國建國されて屬地主義に依り蒙古の大部分は興安省となり其他は主として熱河省に歸屬せしめたのである、而して蒙古の行政に當つて人民に多大の信望を繋ぐ喇嘛寺管理に就て見れば興安省所屬地に關しては何等異論もないが、其他の各省廳に屬せる地域は蒙古事情に精通せる者少なき故、これが管理取扱ひに多大の困難を感ずるのみならず一方民族的感情も伴ひ面白からざる傾向を來し王道精神の徹底を缺ぐうらみあり、即ち喇嘛寺管理問題は頗るデリケートな問題として頗る注目され、興安省に於ては之が處理に就て鋭意研究中であつたが、結局興安省以外の各省の蒙古地域のみの行政特別な一分科旗蒙科、旗務科を擴充

＝整備＝ し喇嘛寺の管理統制に積極的に働きかける事となつた

第二の萬寶山事件を絕滅する相談

關係官、地主、借地人が相寄り完全な契約を締結

滿洲事變の導火線をなした萬寶山の朝鮮農民の借地問題はその後契約が結ばれず兩者間にきまずい問題として殘りのこされてゐたが今回滿洲國の建國を機とし第二回の萬寶山事件を起さしめないやう十九日滿洲國側から長春縣公署岩崎屬官外一名、總領事館から有久書記生、李朝鮮人係が首都警察廳騎馬隊二十三名、總領事警察署から泥谷巡査部長外四名に護衛され現地に向ひ立會し、同日午後三時同地小學校で朝鮮人代表、沈宦達氏地主側代表張鴻賓氏の兩氏契約協定を進め、二十日午前六時萬寶山警察署で左の如き契約でめでたく調印を終へた

△借地面積九百晌（一晌を二百四十弓と定む）
△借地期間十年間
△借地料金
熟地一晌に付二石
荒地一晌に付一石二斗
水路地一晌に付三石

以上は、四年ごとに更新するなほ借地料支拂は天災の如何にかかはらず支拂ふことゝなつた

ハルビンの徵兵檢査は來る廿二、三の兩日

（ハルビン二十日發國通）本年度のハルビン管內の徵兵檢査は來る廿二、三の兩日に亘りハルビン公會堂に於て執行されるが本年度の受檢者は百六十一名の多きに達してゐる

一旦緩急あれば女子も銃を

（ハルビン二十日發國通）當地に達した確報に依ると極東赤軍當局は一旦緩急あれば女子と雖も銃を執つて戰線に繰出し、國防の任を全ふし得るだけの素地を作つて置かねばならぬとの見地から目下浦鹽の各兵營に二十才から三十才迄の妙齡のコムソモルカ（女子青年共產黨員）を收容して軍隊教練を施してゐる、之が教育期間は二ケ月で操典の大要、小銃、ピストル射擊、防毒覆面用法及び衛生勤務等が必習課目となつてゐる

敦賀、名古屋間に大運河を開鑿

名古屋商議で具体案研究

（名古屋二十日發國通）吉長鐵道の開通、羅津の大築港計畫等、日本海對岸の目覺しい躍進振りにより朝鮮、滿洲、裏日本の關係は益々密接を加へて來たので敦賀と中央日本の連絡機關を完備する必要を痛感し名古屋商業會議所では十九日交通部會を開き、名古屋、敦賀間大運河を開鑿計畫を附議し具体案作成のため今後引續き研究を重ねる事となつた右名古屋、敦賀間運河は琵琶湖を利用し中部日本を橫斷せしめ太平洋と日本海を通ずる計畫で名古屋と琵琶湖の最短距離七十キロ湖水の中二十五キロ、此運河を五哩の速力で航行すれば十二時間、多少の餘裕を見ても十四時間を出でず結局名古屋、敦賀間は僅々九十六時間前後で連絡が通すべく、若し此計畫が實現せば我交通史上一大改革を齎らすであらう

雜誌を種に募金を出願す

大連署でお目玉頂戴

（大連十九日發聯通）十九日午後二時半頃東亞聯盟提唱者志水均（二六）と自稱する人物が、大連署高等係に出頭し東亞の聯盟大運動を起す爲雜誌を發行する費用を募集するから許可して貰ひたいと願ひ出で、左樣な山師的のことは絕對に罷りならんと油を絞られた當局では斯樣な不心得者は今後容赦なく退去處分に附する筈

吉凶禍福

△新京中央通四八濱崎哲一氏二女富美子さん十九日出生
△新京東五條通一十嘉村滿雄氏方姉野福二さん、十九日午後二時死去
△新京錦町二丁目一〇早野勇氏孫和男さん、十九日午後一時三十五分死去

陣中美談

飛びかかる敗殘兵を白刃にて刺殺

歩兵第二十三聯隊第六中隊　陸軍歩兵一等兵　吉留勝雄

我が九州健兒の集ふ第六師團のつわものは、春淺き三月末熱河討伐最終の局を結ぶべく冷口附近の險崖に據る十萬を算する敵を關內遠く殲滅を期して、四月十日總攻擊を開始せり、黎明を告ぐる雞鳴を聞き、肌寒き午前二時行動を開始せり、第一線敵陣は午前六時混亂を呈して退却を開始せり、それ逃がすな、さ平常鍛へた日向健兒は其の誇りさする健脚を以て敵に肉迫せり然るに敵の逃げ足の速き目にもさまらず萬里の長城の堅壁に逃れたり、午前九時頃長城直ぐ下の自家店部落に到る頃逃げ遲れの敵を掃蕩しつつ山脚に辿り着く、此の時前方小松林から敗殘兵四五名のこの頭を出したので「それ敵が出た」さ吉留一等兵は眞先に其の中に躍り入り、進退極まり飛び掛り來る一名を鍛へし腕さ氷の如く磨き澄せし銃劍を振ひ、後迄遁れさ氣合も勇ましく美事に斃せり、殘る敵は此の勇敢さに膽を奪し土下座し手を合せしは滑稽の極みなり、而して之を捕虜し武裝を解除せんさするや、小隊長に報告の隙を窺ひ逃亡せんさせしを以て、一人を刺殺せり刺殺せる瞬間、一等兵の銃を固く摑み、引け共離さぬ敵兵を合せた大久保一等兵が、横から一突喰はして之を倒せり勇敢にして豪膽なる一等兵の行動は他の志氣を鼓舞し長城攻擊し魁の功名さして美談に錄す

◎倒れても尙部下を勵まし勝利の基を作る

歩兵第二十三聯隊第六中隊　故陸軍歩兵曹長　吉田滿

冷口攻擊中難攻不落さ稱せる四三〇高地攻擊に當り、山下小隊第一分隊長さして、敵の猛火を浴びつゝ克く部下を激勵し、以て長城に肉迫す、愈々長城直前に達するも壘は堅く敵兵は死守して動ずる所なし、然れ共此の高地の占領は全軍戰勝の端緒なるを知り身を挺して堅壘に突入せしも陣は堅く、且敵兵死守して陷らず、再び敢行せしも意の如くならず、部下を叱咤激勵三度先頭に立ちて喊聲高く突入し、手榴彈戰さ白兵戰を演じ辛うじて其一角を占領するや不幸敵彈の爲胸部を貫かれ、壘上に倒れたるも尙に揮を忘れず、部下をして勇敢に奮鬪せしめ以て四三〇高地を陷落せしむるに至れり

此時「取れたか」「萬歲」の聲を殘し、悲壯なる戰死を遂げたり

其勇敢にして犧牲的行動は、部下を奮起せしめ大隊主力の突擊を成功せしめ、聯隊の進出を迅速ならしめ戰勝の基を作れり

大塚貴族院議員を迎へて　新京武德會大試合

貴族院議員大塚惟精氏の來京を機さし、武德會新京支部主催で二十日午後四時半から、新京警察道場に於て劍道大會を開催することになつた審判は小林六段で參加者多數四段以上の模範試合がある

武德會の夏期講習會

八月一日より武德會本部（京都）に於て夏期講習會開催

一、講習科目　劍道柔道薙刀術武道史衣生理衛生大意

一、講習を受くる者は三段以上さす但實習には制限なし

一、講習料金壹圓

一、希望者は七月二十日迄に申込を要す（武道別、武道階級、職業勤務先、現任所、氏名年齡を記入のこと）

武道定期試驗

京都武德館に於て左の通武道定期試驗施行

弓道七月二十七日（願書受付七月二十四日限）

銃劍術七月二十八日（同七月二十日限）

劍道七月二十九日三十日（同七月二十六日限）

柔道七月三十一日八月一日（同七月二十八日限り）

以上

伊東天山氏廿二日講演

軍事外交講師伊東天山氏は滿洲事變突發當時親しく事變地を視察し歸朝以來二ケ年に亘り六大都市を始め各縣下に渉り老若男女何れにも解り得る俗講演を以て我が君國に殉ずるの意氣を喚起せしめ上海派遣軍司令部をはじめ各方面より感狀を受領せる程にて當地は皇軍慰問を兼ねて「日米戰爭の避けられぬ「三大理由」「米海軍の對日作戰さ裏面曝露」等の演題下に二十二日午後六時大獅子吼をする由

海の外から

□太陽熱の地質に及す影響　米國ウ洲立大學教授W、H、ホウエンホーフェル博士は此の程「太陽熱の地質に及す影響」さ題する大量の研究物を發表したが、之に依るさ若し太陽が晝夜の別なく四六時中照り付けたさすれば、海拔二百呎內外の小丘は一年足らずで土崩れして且々たる平地に桑變蒼化して了ふさ

□百二十萬字印刷機の出現　世界第一を目論見、目下五ケ年計畫で工事進行中のシカゴ大郵便局は日々全世界に發送すべき郵便物に對し行き先指名ペーパーを印刷添付する必要上右建築物竣成の曉は一時間に百二十萬字記入出來る大印刷機を据え付けることに決定した。恐らく世界稀有の設備であらう

煽り立てられる筋が殘る

（四十）黑頭巾評

黑に「十八」と、要點を占められて、白はやむやく中央へ向つて敵中を逃げ延びなければならぬ事になつた。白としては誠に情ない譯であるが、今更（い）なぞと走つて見た所で詰らぬ。矢張我慢して、中腹へ伸ひ出すより名案もないやうである。

だからと言つて、白『二十四』と飛んで、黑（ろ）白（は）黑『十九』白（に）の時、黑が溫順しく（ほ）と納へてゐても白には黑から（へ）と右邊へ打ち込まれたり、又（と）と中央部から煽り立てられたりする筋が殘つて、兩方を凌がなければならぬやうでは面白くない。

で、白は『二十一』と、黑『十八』の肩を衝いて行かなくては、行き處がないやうである。

だが、さうするにしても、先づ『十九』と一間飛びして黑を『二十』と跳ひ出してから『二十一』と肩へ衝いて行くのが働きである。

白『十九』の手は右邊白『十一』と『十五』との廣い間隔を防備する意味にもなるし、又右下隅の黑を攻擊する足場にもなるものである。

盤石である

黑『二十』は、そこを白に塞がれては、困るからであらう。

折角の攻勢を反撥となるのだから、さう飛ぶの一手であらう。

白に調子を付けて『二十一』と肩を衝いた。

黑は猶豫もなく、キュット約へた。

こゝで、白（ち）と伸びると黑に『二十五』と押され、白（り）と）黑『二十七』といふ風になつて、黑は無理で堅固である。

それでは白も遣り切れないのだから『二十三』と尖め付けて黑『二十四』の伸びと交換して『二十五』と綽ねた。

だが、黑『二十四』の手で、（り）と綽ねたら、白は（ち）とグズムのが此の際の形である。グズミは形が惡いなぞと思つてウツカリ『二十五』へ綽ねやうもんなら、後で黑から（ぬ）と當てられ白（ち）黑（る）となつて切斷される筋が殘るのである。

薄い方面へ手入れ

心得べき筋である。

白『二十五』と綽ねたので、黑は『二十六』と綽ね返し白『二十七』と伸び黑『二十八』と押し、白『二十九』と伸び黑尙も『三十』と押し付け、白も手を拔く譯には行かぬから、已むを得ず『三十一』と伸びた。

そこで、黑はもう一本押したい所であるが、さうすると、右の下隅黑が酷くいぢめ付けられさうであるから、いゝ加減に歇めて『三十二』と自分の薄い方面へ手入れしたのは結構である。

かうして置くと、機會が來た時分に、右邊の白へ（を）と打ち込んで行く事も出來るのであ付いたのは、何と言つても大きい處であつた。

尤も、隅は手を拔いても全部取られる心配はないのだが、可成りた損になるものと覺悟しなければならぬ。

圍碁新手合（三局の四）

三段　石塚行誠
三子　鶴岡隆

第一譜（一―三十二）

手	位置
二十一	チノ十五
二十二	リノ十五
二十三	トノ十四
二十四	ヘノ十三
二十五	リノ十四
二十六	ヌノ十四
二十七	リノ十三
二十八	ヌノ十三
二十九	リノ十二
三十	ヌノ十二
三十一	リノ十一
三十二	ヘノ十四

野菜相場

新京市場小賣相場表　六月廿一日「菜果之部」

種別	値段	種別	値段
白菜	八・四	蓬蓮草大連物	一一・一〇
サツマ芋	四・三	里芋	一〇・〇八
山芋	一〇・〇八	赤芋內地	一五
ワタ芋內地	一〇・二五	牛蒡	〇五・〇四
蓮根	一六・一四	白大根「大連」	〇八・〇六
丸大根	〇六	赤大根	〇六
玉葱	〇八・〇九	人參	二〇・三〇
生姜	二〇・一二	ウド	三〇・二〇
ワサビ	六〇・五〇	內地葱	一〇・〇八
玉菜	〇五・〇四	カブラ大小	一〇
馬鈴薯	〇三・〇二	水菜同	〇八
ユリ子	五〇・二五	ミツ葉大小	二〇・〇五
セリ內地	一五	ワケギ內地	〇五
春菊大連	〇三	胡瓜內地	一二・〇五
林檎	一三・一〇	內地梨	二五・一八
天津梨	一五・一二	ミカン	一五・一二
キーブル	四〇	西瓜	二〇

鮮魚小賣相場

種別	値段	種別	値段
活鯛	七〇	津子	一八
アマ鯛	二六	小鯛	三〇
ニベ	九	サハラ	三〇
スヽキ	一六	サッパ	一二
ハゲ	一〇	星カレ	一二
ヒラメ	一〇	コチ	一七
マナカツヲ	三五	タチ	一〇
トビ	二〇	アコウ	四五
赤エイ	一〇	タコ	五五
甲イカ	二〇	水イカ	六〇
イセエビ	七〇	車エビ	三四
カニ	一六	サナゴ	八
アワビ	八〇	シジミ	八
カマボコ	二一	日高カレイ	八
ヤズ	一九	小イカ	一〇
ウナギ	九〇		

蠻船往來

禁轉載上映及上演

（作）寺島柾史 （畫）布施長春

第八十七回 血の手紙（三）

異様なこも包……もちろんこも太縄も腐れて中味がはみ出したその大がめを、やつと砂中から掘出し、飲料水とゝもにたづさへて本船へこぎ戻つた水夫の一行は、さつそくフキオドルのところへ持ち運んだ。

『閣下、斯様なものを海岸でみつけてまゐりました。御覧下さい』

最初に發見した水夫は手柄顔に鼻うごめかした。

『うむ』

フキオドルも、不審氣にそれをみた。そして好奇に驅られながら自らその大かめのふたへ手をかけた。ふたは嚴重に針金で結ばれてあつて容易に取除かれなかつた。

『こりや、誰かこれを取除けい』

部下二人が、命ぜられてさつそく大がめのふたに手をかけた。そして漸くそれを取除いたが、中からは一筋の煙すら立登らなかつた。

『なんのことだ』

『飛んだ人騒がせをする大甕だ』

人々は覺えず苦笑した。が、フキオドルは流石に周到の注意を怠らない、彼は自ら大がめの中へ手を差入れ、中を仔細に檢めた。と

『おゝ……』唸くやうに彼は叫んだ。彼が大がめの底から取出したのは油紙で嚴重に包まれた一通の書狀と男女とおぼしい二束の毛とであつた。

大がめを取まいた人々は、[illegible]のやうな髪の毛と千古の秘密をかたり顔な一通の部厚な書狀とに、三度好奇の眼をそゝいで、容易にその場を立去らうとはしない。

『もういゝ。皆はそれぞれの部所につくがよい。明日の出帆の準備をせい。明日は味明にいかりをまき、本國指して急ぐのぢや』

フキオドルは厳しく命令を發して、おのれもあたふたと室へしりぞいた。彼は室の扉をかたく內側から鎖をおろし、さて中央の卓子に向つてふしぎな謎の書狀を入念に好奇にふるへる手つきで開きはじめた。

それは、粗末な布に、植物の莖汁をインキ代用として、こくめいに認めたものらしく、長い書狀のところどころがかすれて判讀に苦しんだが、仔細にひろひ讀みしてゆくうちに、その文面から意外な事實を彼は知ることが出來た。彼は驚きかつ悲しみ、胸おどらせながら繰返し讀んだ。

波にさらされてか、血涙にぬれてか、粗末な布切れのところどころが消えかゝつて判讀に苦しむこの怪しい書狀の文面には、大體次ぎの様な事が書き殘されてあつた。

（……余は、余が、慘憺認めるこの書狀が、幸ひにオロシヤ人か日本人の手に入ることを祈念しつゝ書きつづる。

また余は、先年オロシヤ國イルクツクを發足なし、日本國蝦夷地へ向つた特使カチウドの成れの果てなることを冒頭してこれをつづける。

余を乗せたアホーツク號は、本國を出帆して以來、途中あらゆる運命の魔手に翻弄せられ、遂に乗組員は全部海底の藻屑と消え失せたことは、今更こゝに書きつづるも涙の種である。幸か不幸か、余一人無人島に等しいウルップの土人の手に救はれ、生き永らうべきでない生命をつなぐことが出來たのである。神は余に再び大なる使命を與へるものといはうか。

島にあること幾月、元氣回復すると共に、ある日土人の眼をかすめ、夜陰ひそかに島を離れた。何といふ無謀、何といふ冒險を敢行したことか……。今や余は余の同行者なる一人の女性とゝもに、帆は千切れ、舵の折れた破船アホーツク號を動かし浪地はるけく運命の船旅を蝦夷松前へ向けたのである。